

1 基本項目	事務事業名	一次救急体制支援事業		担当部署	課名	健康センター	
	予算事業名	一次救急体制支援事業			係名	健康づくり係	
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	S52	終了年度	継続		
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち		予会計	一般会計	
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築		款	衛生費	
		施策名	24 地域医療体制の充実		項	保健衛生費	
		基本事業名	24-1 救急医療体制の充実		目	健康センター	
根拠法令				アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	市民の生命と健康を保持するための初期救急体制として、在宅当番医制の実施により休日の急病及び災害事故等の救急医療機関を確保する。
	対象	休日に医療サービスを求める人
	手段 (活動指標)	休日の診療を行う在宅当番医の調整を魚津市医師会に委託し、在宅当番医制を行う。
	意図 (成果指標)	休日在宅当番医療機関の確保により、休日においても早期に医療サービスを受けることができる。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 休日在宅当番制の実施日数	日	75	74	75	75	100.0%	75	
	② 休日在宅医療診療人数(平均)	人	26.0	32.6	30.0	31.8	106.0%	30.0	
	③								
	成果指標	① 休日診療受診者数/魚津市民	%	4.5	5.5	4.5	5.4	120.0%	6.0
		② 救急医療体制に満足している市民の割合	%	46.0	42.6	43.0	43.0	100.0%	45.0
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						45,000
	② 委託料	円	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0.0%	2,000,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円						
	支出合計(A)	円	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0.0%	2,045,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0.0%	2,045,000
	収入合計	円	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0.0%	2,045,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	② 年間所要時間	時間	100	100	100	20	-80.0%	50
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	420,000	420,000	420,000	84,000	-80.0%	210,000
	総費用(A+B)	円	2,420,000	2,420,000	2,420,000	2,084,000	-13.9%	2,255,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	魚津市医師会が調整した休日在宅当番医が、比較的軽症な救急患者の診療を行う。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	市民アンケート
対象の妥当性					1 妥当である	休日に医療サービスを求める人が受診しており、妥当である。
有効性	有効性	B	A	目標達成度	1 高い	活動指標・成果指標ともに目標値を越えている。
				類似事業の有無	1 なし	他の部局においては類似した事務事業はない。
				上位施策への貢献度	1 高い	貢献している。市民アンケートでは、43.0%が満足と答えている。
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	委託料のほとんどは人件費であり、無駄はない。
				実施主体の適正化	1 適正である	魚津市医師会に委託している。
				負担割合の適正化	1 適正である	市の委託事業である。
	1次評価 (課長総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
	後の方針 (評価結果及び今後)	在宅当番医制を継続していく。 富山労災病院内急患センター(H28.11月オープン)設置に向けて、具体的な急患センターの運営体制について、関係機関と協議を進めていく。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	地域中核病院支援事業		担当部署	課名	健康センター	
	予算事業名	地域中核病院支援事業			係名	健康づくり係	
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	H18	終了年度	継続		
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち		予会計	一般会計	
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築		款	衛生費	
		施策名	24 地域医療体制の充実		項	保健衛生費	
基本事業名		24-1 救急医療体制の充実		目	健康センター費		
根拠法令				アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	魚津市唯一の総合病院である富山労災病院へ、がん拠点病院としての高度機器の貸与等を行うことにより、地域医療の役割を担ってもらう。併せて「富山労災病院を支援する会」の活動を行う。
	対象	市民 富山労災病院
	手段(活動指標)	PET/CT及び放射線治療装置(リニアック)の貸与及び保守。労災病院を支援する会の運営。
	意図(成果指標)	がんの早期発見から早期診断を一連の同病院で行うことにより、市民にとって身近な地域での安心した医療体制を作る。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① PET/CT検査受診者数(市助成分)	人	200	181	200	160	80.0%	180	
	② 清掃ボランティア参加者数	人	500	430	500	450	90.0%	450	
	③								
	成果指標	① 要精密検査率(市助成分)	%	20.0	15.5	20.0	10.5	52.5%	15.0
		② がん死亡率(人口10万対)	%	331	377	331	H27.12月確定		340
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円				2,127,600		
	② 委託料	円			28,078,000	28,077,284		28,078,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	74,764,000	74,459,160	47,162,000	47,161,800	-36.7%	47,162,000
	支出合計(A)	円	74,764,000	74,459,160	75,240,000	77,366,684	3.9%	75,240,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	74,764,000	74,459,160	75,240,000	77,366,684	3.9%	75,240,000
	収入合計	円	74,764,000	74,459,160	75,240,000	77,366,684	3.9%	75,240,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	2	100.0%	1
	② 年間所要時間	時間	100	100	100	80	-20.0%	50
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	420,000	420,000	420,000	336,000	-20.0%	210,000
	総費用(A+B)	円	75,184,000	74,879,160	75,660,000	77,702,684	3.8%	75,450,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	PET/CT及び放射線治療装置(リニアック)の貸与及び保守。 労災病院を支援する会の運営。 労災病院改築に伴う安定した基盤整備のため、H25~H27の3年間について、賃貸借料を猶予した。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
						1次評価	2次評価	不要	
妥当性	妥当性	C	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市内唯一の中核病院であり、地域がん診療連携拠点病院である。			
				目的の妥当性	1 妥当である		市内唯一の総合病院であり、地域に根ざした病院となっている。		
				対象の妥当性	1 妥当である		市内唯一の中核病院であり、地域医療を担っている。		
有効性	有効性	B	A	目標達成度	2 目標どおり	目標達成率は、80~90%である。			
				類似事業の有無	1 なし	他の部局においては類似した事務事業はない。			
				上位施策への貢献度	1 高い	貢献している。市民アンケートでは、43.0%が満足と答えている。			
効率性	効率性	C	B	コスト効率	1 高い	事業費は、機器のリース料と機器の保守点検の委託料であり、これ以上の削減は出来ない。			
				実施主体の適正化	1 適正である	代替はない。			
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり				
	1次評価(課長総括)	C	A	計画どおり事業を実施することが適当		2次評価	不要		
	後の方針) 評価結果	市内唯一の総合病院としてまた地域がん診療連携拠点病院として、地域に根ざした病院となるよう支援を継続する。				評価結果			